

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	都市環境気候図体系化検討小委員会		主査名：田中 貴宏 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)		委員長名：岩田 利枝 主査名：三坂 育正
設置期間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>実社会の建築・都市づくりに資する都市環境気候図（日本版クリマアトラス）の仕様、および、その活用手法を検討することを目的とする。</p> <p>初年度： ・都市環境気候図の体系的整理（出版に向けて）</p> <p>2 年度： ・都市環境気候図ワークショップの実施 ・成果の公表（勉強会）</p>		
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無		
	<p>主査：田中貴宏（広島大学） 幹事：十二村佳樹（岐阜大学） 委員：岩井一博（信州大学）、鍵屋浩司（国土技術政策総合研究所）、橘高康介（神戸大学）、竹林英樹（神戸大学）、鍋島美奈子（大阪市立大学）、鳴海大典（横浜国立大学）、増田幸宏（豊橋技術科学大学）、松尾薫（東京大学）、宮崎ひろ志（関西大学）、依田浩敏（近畿大学）、渡邊浩文（東北工業大学）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 都市環境気候図（日本）、クリマアトラス（ドイツ）の体系的整理
委員会活動の問題点 ・課題	1. 当初より予定していた、成果をまとめた出版計画が遅れている。

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>「都市環境気候図体系検討小委員会」では、出版計画に連動し、都市環境気候図の体系化を進めている。具体的には、国内では仙台、東京、横浜、長野、大阪、広島、福岡の都市環境気候図作成事例をまとめ、ドイツでは、ベルリン、シュツットガルト、カールスルーエのクリマアトラス作成事例を翻訳、整理し、それらの体系化を進めている。しかし、当初より予定していた書籍出版が遅れていることは反省すべき点と考える。よって、C 判定とした。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。